

## ◇新年のご挨拶◇

全日本写真連盟 関西本部長  
全日本写真連盟 大阪府本部長  
(朝日新聞大阪本社映像報道部長)  
橋本 弦



昨年も元旦の能登半島地震から始まり、国内外様々なことがありました。世界はますます不安定さを増しているように感じます。

今年話題となった映画「シビル・ウォー」が早くも配信されたので、遅ればせながら最近観ました。米国内の分断で内戦が発生、インタビューを撮るため独裁的な大統領がいるワシントンD.Cを反体制側のジャーナリストたちが目指すストーリーです。道中、あらゆるところで分断による対立、暴力、殺人を目の当たりにしカメラで記録していきます。そこにはいまの世界が行き着いた分断と、その先の暴力が描かれています。

「写真」という日本語には誤解される部分が多いとつねづね感じています。目の前で起こった事実でも、映画の主人公らが撮影するのは自分が所属する「西部勢力」側からの物語です。一方で殺される兵士側の事実もあります。真実とはどこかにある1点ではなく、複数の視線・考え方・主観を集めた中でぼんやりと浮き上がって見えてくる「何か」ではないでしょうか。そして、追い求める「何か」は、視線の数が多ければ多いほど、解像度を増してくるのだと思います。

今年も、私たちは生活しながら何かを感じたり考えたりして写真を撮ります。また、そうやって撮影された写真をたくさん見て考えます。写真を撮影すること、観ることを通じてみなさんは社会と関わり、そして複雑で豊かな世界の姿がぼんやり見えてくるのではないかと私は思っています。ちょっと大げさですが、みなさんが切り取った1枚1枚の写真の先に、分断と

は対局の世界が描かれるような気がします。もっと写真を！

全日本  
enjoy80 写真コンテスト  
審査結果発表

## ＜総評＞

「第1回全日本 enjoy80 写真コンテスト」へのご応募、誠にありがとうございます。皆様がカメラを通じて見つめた風景や瞬間には、長い人生経験から生まれる独自の視点と感動が詰まっており、一枚一枚に深い味わいがあります。皆様の作品から、年齢を超えて写真を楽しむ心や、新たな挑戦をする情熱を感じました。

このコンテストが多くの方に勇気と喜びを届ける機会となることを心から願っております。

審査委員長 入江泰吉記念奈良市写真美術館  
館長 大西 洋

## ●金賞

「針仕事」小野智子（奈良県）

## ●銀賞

「くつろぎの空間」千葉国男（兵庫県）  
「無題」常峰利次（奈良県）

## ●銅賞

「ダブル富士」渡邊修一郎（静岡県）、  
「祇園あと祭り」左近秋雄（京都府）、  
「浮遊」松本富夫（大阪府）

●入選：澤 良世（東京都）、庄村勝男（東京都）、  
仁藤政一（神奈川県）、山本 肇（埼玉県）、田  
山雄史（埼玉県）、吉川正宏（静岡県）、原 紹  
郎（愛知県）、浜口正雄（三重県）、山本芳子（大  
阪府）、桐村 忠（大阪府）、山本宏宜（大阪府）、  
竹村 洋（大阪府）、小川 勉（奈良県）、大成  
清美（島根県）、田部晶子（広島県）



「ほろ酔いにて候」 山本 芳子



「今年もまた」 山本 宏宜



「ちょっと一服!!」 竹村 洋

## 秋の撮影会ご報告

10月27日(日) 兵庫県の砥峰高原にて秋の撮影会を実施しました。参加者は、総勢29名でした。曇り空の下、参加された方々は、着物姿

のモデルの村上さんを激写。一般客も珍しがって覗き込むように見ていました。残念ながら木道は、狭かったので順番に撮影をして頂きました。また、一般客も多く通られたので、そのたび撮影は一時ストップしました。

午後の部では、モデルさんも洋装に着替えて雰囲気も一新していました。鈴木委員の指導の下、広い高原の中、場所を変え、ポーズを変えての撮影が行なわれました。

モデル撮影終了後、自由撮影時間に移ろうかという時、待ち構えていたように雨が降り始め、しかもかなり強くなりました。しかし、雨の中、自由撮影に向かった人もいたようです。

雨も止みそうもないので、参加者から早く帰ろうと声があり、早めに撮影会を切り上げました。

無事撮影会を終了することが出来たことに対して、関係各位に感謝申し上げます。



## <審査結果発表>

### 【審査委員長総評：今村昭一】

ご応募の皆さま、ありがとうございます。ご入賞ご入選の皆さま、おめでとうございます。今回は「砥峰高原」でのモデル撮影会でした。だから場所とモデル、そしてススキが最も輝かしい作品を選ぶように努めました。

そして、できるかぎり「うまい写真」より「いい写真」を選びました。「いい写真」とは「伝わる写真」です。伝わるって、何が…？ それは作者の心情やメッセージ、そして思い描く物語です。写真家を含む古今のアーティストはそれらを作品に込めています。それがわかる作品が「いい作品」なのです。「伝わる写真」を今回の選考基準としました。

多くの応募作品がこの基準をクリアしていました。今回の上位作品は審査員の意見が合致しすんなりと決まりました。つまり、基準を超え、さらに特異さや斬新さが加わっていたのです。「詩情」を感じられた作品もありました。

スマホやSNSの普及でカメラや写真の世界は大きく揺れ動いています。SNSの写真とカメラによる写真を対立的に扱うことに抵抗があります。時や目的などに応じて使い分ければよいのです。つまり、使い方次第ということです。

SNSにも「いい写真」は多くあります。それは他人に伝えたいという願望があるから「いい写真」になるのです。SNSの写真は良きライバルです。私たちはSNSには難しい、ひと味違う写真を撮るのです。そのためにはカメラの機能や編集ソフトを十分に使いこなすことが大切です。

質の高い写真をめざしておられる皆さま方のご努力に敬意を表します。

#### 審査委員

今村昭一(委員長)、水谷八重子、高橋憲一  
推薦

「立ち止る」松原由貴子(大阪市)

#### 特選

「何処へ」木下修二(大阪市)

#### 準特選

「凜として佇む」高木正志(豊中市)

#### 入選

畝 富政(豊中市) 筒井利枝子(吹田市)  
荒木一郎(生駒市) 紙田タカシ(神戸市)



「立ち止る」松原由貴子

## ちん電コンテスト

100年以上も大阪の下町を走り続けている  
ちん電【阪堺電車】

<下町情緒豊かな街並みを撮ろう！>

応募締切：2025年1月31日(金) 消印有効

応募料：会員1,000円 一般2,000円

詳細はWEBで



2025年2月17日(月)  
舞踏家：デカルコ・マリイ  
モデル：Yayoi  
先着40名 会費1,000円  
WEB会員、非会員3,000円  
詳細はWEBで

1月から2025年度会員継続の手続きが開始され、フォトアサヒに「振込票」が同封されています。「氏名、金額、振込先加入者名、口座番号」が印刷されたこの「振込票」で郵便局/銀行/コンビニなどから(コンビニが便利です)継続会費納入のほどお願い申し上げます。

## 写真展のご案内

第3回フォトくらぶ令和展  
2月28日(金)～3月6日(木)  
富士フイルムフォトサロン大阪

## 読者の広場

### <第11回デジタルフォトゼロ・キュ展>



【デジタルフォトゼロ・キュ支部  
「やさしい気持ち」勝谷和夫】

「やさしい気持ち 左の写真」

夏の昼間、公園へやってきた浴衣姿の親子連れ。花を見たりして散策されていました。ほ～、浴衣姿とは珍しいと、それとなく注目していたところ、その子供さんが、池の鯉に餌をやり始めました。その様子が可愛らしく、つい孫の事を思い出して気が付いたら何回もシャッターを切っていました。

「やさしい気持ち 右の写真」

「神戸動物王国」で、こわごわカピバラを触っている女の子に出くわしました。その様子に愛おしさやほのぼのさを感じ、しばらく眺めていました。そして、慌ててシャッターを切った内の一枚です。

### <第41回くらぶRoot 写真展>



【くらぶRoot 森下和彦  
「ちん電コンサート」(5枚組の3枚)】

天王寺から出ている阪堺電車を貸し切ったのコンサート風景。  
アマチュアながらあちこちでライブをする音楽家仲間が集まって楽しんでいました。

〒530-0005 大阪市北区中之島 2-3-18

全日本写真連盟大阪府本部

Tel:06-6201-8006 Fax:06-6201-0285

メール: nissyaren@osaka.email.ne.jp